

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年10月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670800269号
法人名	医療法人吉祥会
事業所名	グループホーム美楽居
所在地	出水市平和超347 (電話) 0996-63-8000
自己評価作成日	平成23年10月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同敷地内に、病院、老人保健施設があり24時間帯での対応や医師との連携で利用者様やご家族に安心をいただいている。また、共同でリスクマネジメント委員会や、感染対策委員会、身体拘束委員会などを立ち上げ、毎月の会議や勉強会などで職員の知識や意識の向上を図っている。

毎年年度初めには理念の実現のための目標設定、個々の能力評価や教育計画の作成など職員の質の向上がケアの質の向上につながると考えて取り組んでいる。職員も意欲的で資格取得にも熱心で、現在70%の職員が介護福祉士の資格を持っており、今年度も受験資格のあるものは挑戦する予定である。施設内外の研修にも積極的に参加している。

また、一人一人がチームケアの大切さを自覚しており、チームワークと活発な意見交換を行い明るい雰囲気です。「職員の笑顔がいいですね」とよくお褒めの言葉をいただいている。

出水市の閑静な住宅街に立地し、開設10年目となる地域の中核的なグループホームである。法人は医療機関や介護老人保健施設、居宅介護支援事業所を運営しており地域の医療と高齢者福祉の一端を担っている。当事業所も隣接する法人の病院や施設などと連携を図り、災害対策や利用者の健康管理、病院受診、重度化の対応など医療・福祉面からのバックアップを充実させている。

職員の離職が少なく、また内外の研修の受講やスキルアップに向け資格取得を積極的に支援することでの職員育成に取り組んでいる。ほとんどの職員が介護福祉士や看護師、ケアマネージャーなどの有資格者であることから、介護などの知識・経験も豊かであり質の高いサービスを提供している。また、職員は各委員会に属し、専門的に学ぶ機会によって更に自己研鑽意欲を高め、自己の成長に結び付けている。職員のチームワークも良く、職員体制も整い、利用者個々の希望に応じた外出支援や、日常の食事・入浴・排せつ支援などきめの細かいケアがなされ、家族からの感謝の思いも伺われる。

また、拘束のないケアの実践と利用者の人格を尊重した対応にも力を入れており、「美楽居の禁句&マナー集」を毎日一項目づつ読み上げるなどして職員の意識付けを行っている。職員の声かけもやさしく、利用者の表情も穏やかで、職員や利用者の笑い声が聞かれるほどの、明るく活気のあるグループホームである。今後は更に地域との交流を促進し、認知症の理解や支援方法を地域に発信して、事業所の力を活かせるような取り組みに意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼には全員で理念を唱和し、理念の達成に向けた目標の設定を毎年スタッフ全員で考え達成したかを評価している。	理念は法人の統一したものであるが、職員全員で話し合ってグループホーム独自の目標を毎年作成している。職員は理念と目標を共有して実践に繋げ、年度末に個々の評価とホーム全体の評価を行っている。理念は玄関や職員室に掲示して、ネーム裏にも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の店での買い物や文化祭、三味線や太鼓の発表会に参加などできるだけ地域とのつながりを持つようにつとめている。	地域行事の見学やマラソンの応援、地域の文化祭に毎年利用者と作成した作品を出品するなど、地域とつながりながら暮らせるように努めている。また、地域の演奏クラブや花屋によるフラワーアレンジメント教室など、ボランティアの訪問もある。小、中、高校生のボランティアや実習の受け入れも行っている。法人全体の夏祭りも地域交流の機会となっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	市と協力して認知症サポーター養成講座の開催、実習生の受け入れなどを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	9月の会議でノロウイルスや感染症について家族は知らないことが多いので、ホームより啓蒙してはどうかとの意見が出たので、広報誌を利用して、感染症についての説明を行っていることと計画している。	地域住民代表、家族代表、行政の出席を得て、2ヵ月に一回定期的に行っている。ホームの現状報告や行事報告、ヒヤリハット事例の報告など行って、参加者からの意見や助言などをもらっている。	

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーとして協力を仰いだり、研修会の案内など連携を密にするように努めている。	相談や報告など機会を捉えては連携を図るように努めている。また、市と共同で認知症サポーター養成講座の開催や実習生の受け入れなども行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	隣接する老人保健施設と共同で身体拘束廃止委員会を立ち上げ、身体拘束についての年1回の勉強会を開催し、身体拘束の正しい意味を理解し、いかなる拘束もしない意識付けができています。	法人全体で身体拘束をしないケアの実践に取り組んでおり、身体拘束廃止委員会も設置されている。全職員を対象とした勉強会や「美楽居の禁句&マナー集」を作成して毎日唱和するなど職員の意識付けを行っている。日中は施錠などせずに、職員の見守りと連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	前記の身体拘束についての勉強会時に高齢者虐待防止についても学び、特に心理的虐待がないように注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開催し権利擁護や青年後見人制度について全スタッフが学んでいる。		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は重要事項説明書を読み上げ、またゆっくりと時間を取り家族の不安や疑問点を聞き取り納得がいく説明をするように心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や苦情受付の第三者委員明記を重要事項説明書に明記している。	重要事項説明書にも第三者委員が明記されている。来訪時や電話連絡時などに職員は家族と話をするように心がけて、会話の中から家族の要望や意見などを拾い上げている。出された意見・要望は全員で話し合っ改善や希望に添えるように取り組んでいる。毎月、担当者からの「近況報告書」は項目に分けて詳しく書かれており、家族から大変喜ばれている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎年2回面接を行い意見の交換や職員会議でも自由に意見を交換できる雰囲気作りをしている。	職員は気づきメモに、ケア・設備・接遇・料理・その他を記録して情報の共有を図っている。また、全職員が各委員会及び係（身体拘束・クレーム・接遇・診察・リスクマネジメント・研修企画・広報・レクリエーション・感染対策・じょくそう対策・施設整備・園芸）に属し、専門的に学びながら責任をもって取り組み、意見・提案などを運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の力量評価を行い、毎年のベースアップ、資格手当の支給やできるだけ残業をしないように配慮を行っている。		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年個々の職員の力量評価で目標の設定を行い、目標達成のための行動計画の作成、研修や勉強会への参加を年度初めに計画している。その他、毎月施設内研修会へも全員が参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会を設立し、合同での研修会や交流会などで互いの資質を向上させるよう取り組みを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを開始する前にできる限りの情報を収集し、本人の要望や不安、安心をできるだけ早い段階でつかめるように心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に可能なら何度でもホームを訪れてもらい、困りごとや不安感など軽減できるよう関係づくりに心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族、また必要なら担当ケアマネも含め、出来るだけ正確に必要な支援を提供できるように情報収集を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員が主人公のケアでなく、利用者の主体性や、待つケア、必要な部分をサポートするケアの必要性を常に話し合い確認している。</p>		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	できるだけ面会時や遠方の方には電話などで現在の状況や表情を伝え、職員と一緒に支援の方法やこれからの行事など考えていただくようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人のなじみの店での買い物支援や、友人が面会に来られた時など気楽に来ていただけるような雰囲気づくりを心掛けている。	個々の希望に応じた支援を行っており、自宅近くの商店での買い物やお寺詣り、お墓参り、美容室などなじみの関係継続の支援を行っている。また、友人知人が訪ねやすいような雰囲気にも努めている。絵画が趣味の利用者に絵の指導に訪れる法人の職員もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時には利用者間のトラブルもあるが、利用者間で解決できることもあれば、スタッフがかかわるほうが良いこと、また、出来るだけトラブルを未然に防げる環境づくりなど常に見守りや検討をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も必要な時はいつでも情報提供をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成者が一人でアセスメントを取るのではなく、スタッフ全員でその方を観察し、意見を交換し合ってその方の意向の把握に努めている。	日常の会話や職員の観察で思いや意向を把握するように努めている。特に職員の観察は徹底している。また、利用者の希望に柔軟に対応してくれるとの家族の感謝の思いも伺える。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、また担当ケアマネ等より、情報の収集を詳細に行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ全員がアセスメントの重要性を理解し、出来ること、出来ないことを正確に見極められるように定期的に勉強会もしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時には、本人、家族の意向や主治医、また、必要に応じての関係者の意見も求め、計画作成者だけでなく、全スタッフの意見も出し合ってプランを作成している。	「はじめの一步シート」を作成し、生活歴やなじみの関係など詳しく情報が得られるように工夫することで、本人がより良く暮らせるようにプラン作成に活かしている。買い物が好きな利用者や家族と自宅で過ごすことを楽しみにしている利用者には、定期的に支援できるようプランに取り入れている。また、筋力低下を防ぐように全員に生活リハビリとしてストレッチ体操を取り入れている。	

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過記録は毎日記録し、定期的な見直しや、また、必要に応じての見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	画一化されたサービスでなく、その方の望む外出であったり、個人に合わせたレクリエーションを実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公園へのドライブや、ボランティアの活用など地域の中で楽しみを見つけられるように心がけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医とは常に連絡を取っており、また他の病院受診も必要時は付添支援している。	診察担当の職員もおおり、主治医との連携がスムーズに図れるように支援している。往診や訪問看護、通院介助など、家族と職員・各医療機関と相談連携を図りながら支援している。	

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診記録や薬の管理の徹底、また、同敷地内に病院があるので24時間すぐに連絡が取れる状態である。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した場合、退院後の心配はならないように、グループ内の病院や、老人保健施設等との連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の在り方については契約時に本人や家族等の考えを聞き、必要に応じてその都度主治医も交えて、話し合いを行っている。	重要事項にも明記しており、入居時に重度化した場合の対応方針を説明し、本人や家族の意向を確認している。また、利用者の身体状況に応じて、家族・医療機関・職員など随時話し合いを持ち、方針の共有を図っている。原則として看取りは行わない方針であるが、法人の医療機関等と連携を図りながら、ホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命法の訓練やリスクマネジメント委員会の設立など急変や事故に対しては、対応できるように取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練の実施と災害時のマニュアルを作成して、全職員が周知徹底している。</p>	<p>法人の医療機関、老健施設、職員寮などが同敷地内にあり、法人全体で協力関係が話し合われて合同の避難訓練を行っている。スプリンクラー、自動通報設備も設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎年、年2回の接遇研修を実施している。また、利用者の方一人一人を敬う気持ちを持って接することを基本として職員教育を実施している。	人格を尊重した言葉かけや対応を心がけ、接遇委員を中心として職員教育を徹底している。また「美楽居の禁句&マナー集」の唱和により職員の意識付けを行って、質の向上に取り組んでいる。職員の声かけがやさしく、利用者の表情も穏やかである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方が何を望んでいるのかを見極め実現できるように、アセスメントの技術を高めるための勉強と、自己決定を大切にするケアを全員で心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかな流れはあるが、まず、利用者の方一人一人を見ながら、柔軟に対応していくことを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	必要に応じての洗面介助、行事の時は希望に応じての薄化粧や、家族にお願いして余所行き洋服を持ってきていただくなど、きめ細かい配慮はしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	巻きずしやごぼうのさがきをされたり、箸を配る、配膳、いただきますの声掛けなどその方に応じた役割を担っていただいて利用。	日々の給食日誌にカロリー計算と評価をもらうことにより、職員の向上心を引き出している。食べやすい食事形態にする際も本人の希望を聞いてから目で行うように配慮している。ぼたもちやそば打ち、行事食や家庭菜園などのアドバイスをもらいながら職員と共に行っている。近所のファミレスに出かけたり、季節のいいときは前庭で重箱のお弁当を楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士にお願いしてメニューへのアドバイスをもらったり、一日のカロリー計算や摂取量のチェック、また、その方の食べやすい食事の形態など行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方に応じて、口腔ケアの声掛けや、洗面所への誘導、口腔ケアの実施など行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排せつパターンを把握して、その方に合わせた誘導は声掛けを実施している。また夜間は必要に応じてポータブルトイレを活用している。	職員の観察及び申し送りにて利用者個々の情報を共有しており、個々に応じた声かけ、誘導でトイレでの排せつを支援している。自立している利用者も多く、継続できるように支援している。ポータブルトイレは、日中はトイレでの排せつを支援しているため、所定の場所に保管し、利用者の状況に応じ夜間のみ使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の管理を行い、適度な運動や、繊維質の多い献立の工夫、水分を多くとるように配慮し、また、下剤の使用など便秘予防に取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は毎日準備しその方の希望に合わせてゆっくりと入浴を楽しめるように配慮している。	入浴日、時間など決めておらず、個々の希望に沿った入浴の支援を行っている。毎日、入浴する利用者もいる。湿疹対策に保湿入浴剤を使用したり、季節に応じてゆず湯・ポントタン湯・菖蒲湯など楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝もその方の習慣に合わせて、部屋へ誘導したり、居間でウトウトしているのを邪魔しないようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は一人一人ファイルし、毎日残量をチェックしている。また、状態に変化があった場合にはすぐに主治医に連絡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別ケアを大切にして、その方に応じた役割や、楽しみ、レクリエーションの工夫をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その方のなじみの店への買い物、三味線の発表会や太鼓の発表会、文化祭への作品の出品など地域の中へ出かけて、地域の一員として参加できるように、スタッフだけでなく時にはボランティアの力も借りながら支援している。	日常的には散歩や買い物、ドライブなどに出かけている。また、併設の施設での催し物見学や地域行事の見学、ドライブを兼ねて、季節の花見（つつじ・しょうぶ・あじさい・コスモス・桜など）や鶴見学などにも出かけている。個別や少人数でも日常的に外出（お寺詣り、お墓参り、外食、買い物など）している。	

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小銭は自分で持っている方もいるが、基本的にホームで預かり、買い物や喫茶店に行った際には、その方によっては自分で払っていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方に住む家族の方へは、手紙や電話などお願いしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間はゆったりと明るい空間で、季節の花や、掲示物などで季節を感じてもらおう工夫をしている。</p>	<p>共用空間は食事用のダイニングとくつろげるリビングに分かれており、メリハリのある生活ができるように工夫されている。全体的に広々とした造りで明るく、坪庭もあり季節の花が植えられ、開放的で採光も良い。浴室、トイレも広く、職員が介助しやすい造りである。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間や食道、玄関前やテラスなどゆっくりとしたスペースがあるので皆さん思い思いにくつろいでいる。</p>		

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家から持ち込まれるものは少なかつたのですが、少しずつ写真や、花など増えてきつつある。</p>	<p>入居時、家族に使い慣れたものの持ち込みをお願いしているが備え付けのベッドや家具などを利用している利用者も多く、飾り物や家族の写真などで利用者の現状に合った工夫をしてその人らしい居室作りを行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの表示や、手すりの設置、出来るだけ段差もなくし、明るい照明、静かな環境づくりなど常に心がけている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム美楽居 1ユニット

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない